

沈める怒り

奥深く怒りは沈みゆき
沈みゆくほどに自ら潰れ
潰されるほどに熱を激しくする
真白い矮星は沈んでゆく

さらに奥深く熱球は沈みゆき
のしかかる重圧は容赦なく
球は熱し尽きて黒く鈍く
小さく重く沈んでゆく

もはやただ潰れゆくのみ
空間をさえ引きずり込み
光さえも吸い取って
見えない地獄穴はできる

この傍を通る者こそ哀れよ
逃げ出す術はなく引きずり込まれ
潰されて点と消えるのみ
恐ろしき怒りの復習

皮肉な微笑の下に蟻地獄は隠れる
ああ、自ら熱き怒り飲み下した人に
不発の弾薬は沈んでさらに恐ろしく
ああ、無差別の罠となり変った

(1982.5.9)